

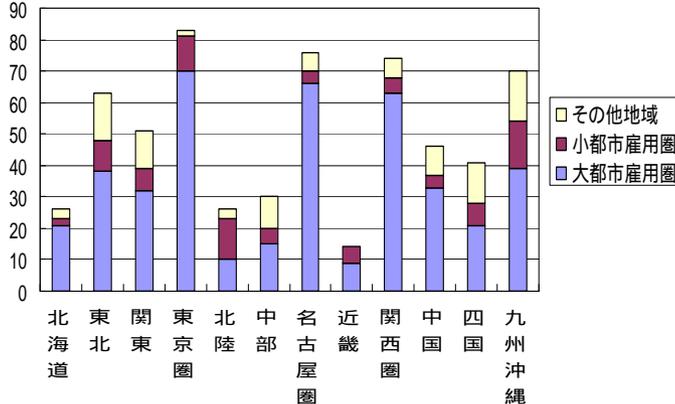
指標：地域別産業遺産の件数

(産業遺産件数、事例)

産業遺産は、三大都市圏内の大都市雇用圏に比較的多く集中している。

三大都市圏ブロック別産業遺産件数

(件)



(産業遺産の事例)

足尾銅山(栃木県足尾町)

足尾銅山は、江戸時代初期に発見されて以来、幕府直轄の銅山として開発され栄え、明治初期には東洋一といわれる銅山にまで成長した。坑内は現在、内部が公開され、400年近い銅山の歴史と、鉱山の仕組みが見学できる。

旧秩父橋(埼玉県秩父市)

旧秩父橋は昭和6年(1931)に竣工した鉄筋コンクリート造りの三連アーチ橋であり、当時の鉄筋コンクリートアーチ橋としては大型のものであった。現在も、地元の要望で保存されている。

旧英国総領事館(横浜市)

旧英国総領事館は、関東大震災後の昭和6年(1931)に建てられたもので、イギリス本国の政府機関が設計した由緒ある建築物である。イギリスの18世紀初頭から19世紀初めにかけて流行したオーソドックスな建築様式で、建物本体をはじめ、正門柱、門扉、照明鉄柵などは、いずれも設計当初の形をそのまま残している。

琵琶湖疏水(びわこすい) (京都市)

明治の大事業といわれた琵琶湖疏水は、明治18年(1885)に着工し、明治23年(1890)に第1疏水が完成した。水力発電も行われるようになり、この電力を利用して新しい工場が周辺にでき、市内には路面電車も走りはじめた。明治45年(1912)には第2疏水が完成し、さらに水道と市営電車も開業して、近代京都の街づくりの基礎ができあがった。

伊田堅坑槽(いたたてこうぐら) (福岡県田川市)

伊田堅坑(いたたてこう)は明治43年(1910)、三井田川鉱業所が開いた炭坑であり、堅坑槽は筑豊地方に残る唯一のものとして貴重なものである。

(出典) 科学技術振興事業団HPより、国土交通省国土計画局作成。

(注) 産業遺産とは、「産業界において活躍した遺物や遺産」と定義しており、大きなものはダムや橋などがあり、工場やその中で動いていた機械、道具や工具、それに写真や図面なども該当する。選定基準は、おもに明治から昭和にかけてのもののうち、特に重要であると思われるもの、実際に見学できるものから選定している。